

平成18年度 全日本聾教育研究会役員名簿

(敬称略)

会 長 (関 東)	秋 谷 義 一 (東京都立立川ろう学校)
副 会 長 (今期開催校)	四日市 章 (筑波大学附属聾学校)
副 会 長 (次期開催校)	松 本 健 郎 (熊本県立熊本聾学校)
副 会 長 (役職指定)	今 井 二 郎 (筑波大学附属聾学校)
常任理事 (北 海 道)	山 口 すみ子 (北海道札幌聾学校)
(東 北)	工 藤 茂 (青森県立青森聾学校)
(関 東)	鈴 木 信 行 (静岡県立静岡聾学校)
(北 陸)	蓑 俊 夫 (富山県立高岡ろう学校)
(東 海)	梅 本 美恵子 (愛知県立一宮聾学校)
(近 畿)	箕 谷 健 三 (京都府立聾学校)
(中 国)	石 破 君 代 (鳥取県立鳥取聾学校)
(四 国)	奥 浦 利 一 (徳島県立聾学校)
(九 州)	内 野 安 成 (佐賀県立ろう学校)
(大会開催校事務局)	赤 根 直 樹 (筑波大学附属聾学校)
(次期開催校事務局)	福 泉 勝 典 (熊本県立熊本聾学校)
(本部事務局)	赤 根 直 樹 (筑波大学附属聾学校)
理 事 (北 海 道)	金 沢 誠 (北海道札幌聾学校)
(東 北)	松 淵 利 夫 (秋 田 県 立 聾 学 校)
(関 東)	斉 藤 政 行 (東京都立立川ろう学校)
(北 陸)	荻 布 知寿子 (富山県立高岡ろう学校)
(東 海)	阿 部 由美子 (愛知県立一宮聾学校)
(近 畿)	中 道 勝 久 (大阪府立生野聾学校)
(中 国)	坪 田 憲 和 (岡山県立岡山聾学校)
(四 国)	家 藤 武士枝 (愛媛県立宇和聾学校)
(九 州)	深 山 孝 文 (福岡県立久留米聾学校)
監 査 (東 京 都)	伴 亨 夫 (東京都立大塚ろう学校)
(近 畿)	坂 井 美恵子 (大阪府立生野聾学校)

*. 監査は、1名は東京都の校長会より、1名は近畿地区の校長会より。

問 (関 東)	小 澤 配 邦 (元 会 長)
問 (北 海 道)	別 府 亮 次 (前 会 長)

本 部 事 務 局 (筑波大学附属聾学校内) 047-371-4422・372-2672	事務局長 赤根 直樹(教務) 青山 浅日(幼) 山本カヨ子(小) 藻利 国恵(中) 石川 由香(高) 西俣 稔子(歯) 福地 陽(舎)
----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

【編集後記】

全日本聾教育研究大会は、昭和42年に第1回大会が開催されて以来、今年で第40回大会を迎え、また第9回アジア太平洋地域聴覚障害問題会議(APCD2006日本)を共催する運びとなりました。本誌に記載されている前身の大会を合わせると、通算57回を数えます。このように営々と長きにわたり開催されてきましたことは、ひとえに、本大会の特徴といえる教育現場に根ざした授業に基づく研究と、教育実践上の研究発表、協議が行われ、会員の皆さまの聾教育に対する情熱とたゆまぬ努力の賜物と、事務局といたしまして心より感謝申し上げます。

昭和59年に研究資料として、昭和26年から59年までの『研究発表題目一覧』を全日聾研常任理事会および小畑修一先生がまとめられたものをベースとして、その後の昭和60年から本年までの研究発表題目を合わせて、事務局が改めてまとめ、この記念すべき年に刊行することになりました。その内容は研究発表題目総数5,700件の膨大な資料となりました。この『発表題目一覧』が明治8年以来130年を超えるわが国の聾教育の歩みを継承し、先達の尊い意志を後世に伝え残す貴重な資料の一つとなることと、会員の皆さまや多くの聾教育関係者に活用していただき、発展の一助となることを願ってやみません。

最後に『発表題目一覧』の刊行にあたって、前事務局長 竹村茂氏と大会事務局スタッフの皆様の協力に支えられたことと共に、第40回大会に内外合わせて200件を超える研究発表のお申し込みをいただいたことにより、本邦30年ぶりの国際大会が盛会裡に迎えられることを心より感謝いたします。

全日本聾教育研究会本部事務局長 赤根 直樹

全日本聾教育研究大会 発表題目一覧 (昭和26年～平成18年)

平成18年10月9日 発行

編 集 全日本聾教育研究会理事会
〒272-8560
千葉県市川市国府台2-2-1
筑波大学附属聾学校内
電話・FAX 047-372-2672

発 行 全日本聾教育研究会

印 刷 合同印刷株式会社

全日本聾教育研究会 <http://www.normanet.ne.jp/~zenichro/>